

立教大学ジェンダーフォーラム第63回ジェンダーセッション

# 「インドネシアから湾岸へ

——家事労働者として働きに出ること」

日時 2014年10月29日(水) 18:30～20:30

会場 立教大学池袋キャンパス 本館1202教室

講師 平野 恵子 氏(お茶の水女子大学ジェンダー研究センター)

## ◆講師プロフィール◆

お茶の水女子大学ジェンダー研究センター講師(研究機関研究員)。

専門は、移民研究、ジェンダー研究、インドネシア地域研究。2011年3月お茶の水女子大学より学位取得(社会科学)。  
2008年～2009年にかけてインドネシア大学女性学・ジェンダー研究センター(現ジェンダー研究センター) 客員研究員。

主著に、Keiko Hirano, 2014, "When Working Abroad Becomes a "Dosa (Sin)": The Impact of Women's Migrant Domestic Labor on the Gender Relations in Rural Indonesia", REMI, forthcoming.

Elizabeth Kristi POERWANDARI, Tara DE THOUARS and Keiko HIRANO, 2014, "Gender Construction in Five Japanese Serial Dramas: Fantasy and the Real Lives of Japanese Youth", Asian Journal of Women's Studies. Vol.20, No.2. pp. 97-132.

平野恵子、2013、「湾岸諸国におけるインドネシア家事労働者「問題」とネットワークの可能性」、『白山人類学』、pp.93-108.

平野恵子、2011年9月11日、「学歴のない女性がサウジに渡航するインドネシアの事情」『ASAHI中東マガジン』

<http://astand.asahi.com/magazine/middleeast/report/2011090100003.html>

何春蕤著、館かおる・平野恵子編、大橋史恵・張瑋容訳、2013、『「性／別攪乱」——台湾における「ジェンダー／セクシュアリティ」ポリテクス』、御茶の水書房

藤掛洋子・平野恵子、2014(予定)、「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約選択議定書(女性差別撤廃条約選択議定書)」佐藤寛監修、『国際協力用語集 第4版』、国際開発ジャーナル社

平野恵子、2015(予定)「社会開発の福祉学」「コラム ジェンダーと開発」、佐藤寛編著、『開発社会学の基礎文献60冊』、明石書店

1980年代より、インドネシア政府は家事労働者としての女性の海外就労を組織的に進めてきた。2011年現在、インドネシア人の新規移住労働者の約7割が女性である。1974年制定の婚姻法的一条、「夫は妻をいたわり、可能な限り家庭の日々の暮らしに必要な物を与える義務を負う」(第34条)は家事・介護労働者世帯においては逆転している。移住家事労働者の越境は、送り出し世帯のジェンダー関係にどのような影響を及ぼしているのか。湾岸アラブ諸国への送出しを主とする西ジャワ州チアンジュール県の山村を事例に考察する。

お問い合わせ先 立教大学ジェンダーフォーラム

TEL/FAX : 03-3985-2307 E-mail : [gender@rikkyo.ac.jp](mailto:gender@rikkyo.ac.jp)

<http://www.rikkyo.ac.jp/aboutus/philosophy/activism/gender/>